

# 学校図書館支援センター通信 NO.98 3月号

平成27年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

図書館の窓から ～ひろげよう！図書館の輪・リレー執筆～



## 第2回事業委員会・協力校合同会議

### 平成27年度 文部科学省「学校司書の資格・養成の在り方や資質能力の向上等に関する調査研究」

2月12日に、今年度の文部科学省委託研究のまとめとなる第2回 事業委員会・協力校合同会議「平成27年度 文部科学省 学校司書の資格・養成の在り方や資質能力の向上等に関する調査研究」が開催されました。事業委員の皆様と協力校の関係者が集まり、各校の研究の成果や課題だけでなく、市川市の今後の方向性についても話し合いが行われました。

【○成果・●課題・◎来年度に向けて】

○学校図書館は、教育課程の展開に寄与する場所であるということを踏まえ、校内研究や校内研修の中に、学校図書館活用を計画的に位置付け、全教職員で学校図書館活用の推進を図ろうとする取り組みが多く見られた。

○校内LANシステムの学校共有ファイルスペースを利用して、学校図書館で活用した資料を共有したことで、誰でもすぐに活用できるようになり、授業内容の工夫、改善が図られた。

○学校司書とのチームティーチングによって、学校司書によるブックトークやレファレンスが効果的に行われ、子どもたちから「疑問を解決することができた・新しいことを発見することができた・他のことも調べたくなった」という回答が多くあがった。

●初若年層教諭が増加し、学校図書館を活用した授業経験が浅いため、有効な活用に結びつかない状況が見られた。

●子どもたちに21世紀型スキルを身に付けさせるために、インターネットの活用等に関する情報リテラシー教育について、指導者が指導技術を身に付ける必要がある。

◎これらを踏まえて来年度の研修に、学校図書館を実践的に活用できるような内容を多く含めていく必要がある。

【事業委員長 東京学芸大学名誉教授 大熊 徹 先生からの指導・助言】

「本を読む力」は、表層・中層・深層の三層構造を有し、それぞれの段階に応じて、文章を読む力・文章を組み立てる力・文章を通して思考する力を養います。学校図書館活用を通して身に付けた、習得・活用・探究という学習プロセスは、思考力・判断力・表現力を高め、自らの考えを広げ力強く生きるための糧となります。子どもたちが見通しを持って粘り強く学び続けるためには、授業内容の充実だけでなく、適切なアドバイスや、子どもの学びに最後まで寄り添い達成感を味わわせることが大切です。

これらの結果を踏まえ、来年度はさらなる向上を目指して、学校図書館活用の推進を図っていきたく思います。研究内容は、研究紀要にまとめて配付する予定です。



第六中学校では昨年の10月から1月中旬にかけて、保育実習を行いました。

今年度は、近隣の4か所の保育園、幼稚園（どろんこ保育園・杉の木保育園・鬼高保育園・鬼高幼稚園）の園児と3年生の交流となりました。自己紹介の段階では少し緊張していた3年生でしたが、心を込めて絵本の読み聞かせをしている姿は、優しく頼もしいものでした。聞き手の園児たちも、やがては今回の3年生のように素敵な読み聞かせをしてくれる日が来ることでしょう。絵本の読み聞かせが、リレーの襷のように、繋がっていきます。交流を終えた後、3年生がとても穏やかな表情をしていたことも印象的でした。

市川市立第六中学校 学校図書館員 大塚 邦彦



### 第三中学校(1/20)・国分小学校(1/26) 学校図書館活用校内初若年層研修会

今年度は、市内の多くの学校で「学校図書館の活用」に関する授業研究会や、校内研修会が行われました。

今回は、初若年層教諭を対象とした、第三中学校と国分小学校で行われた研修会をご紹介します。

第三中学校では、国語科の授業で行った「読書会」について、参加者から「読書会を行う際のグループの人数」や、「学校司書の関わり」などについて、質問や意見が出されました。

国分小学校では、図鑑や科学読物を使って、「不思議図かんを作ろう」という学習の中で、自分の不思議の答えを調べてワークシートにまとめる」という授業が展開されました。

授業者および参観者から、発問の仕方や、提示した資料の見方など、様々な質問が出されました。

両校の講師を務めた、東京学芸大学非常勤講師の小林路子先生からは、子どもたち全員に達成感を持たせるための手立てとして①学習のゴールを示す②時間の制限を伝える③収集した図書（相互貸借で）を全員に紹介する④記述させる分量（文字数）を状況に合わせて決める⑤交流のさせ方を考える、という視点でご指導をいただきました。

これらの内容は、学校図書館を活用した授業だけでなく、全ての授業に活用できる大切な視点です。今後の授業に取り入れ、より良い授業改善を図っていただきたいと思います。

◎平成27年度の教育実践記録論文集「いぶき」について

平成27年度の教育実践記録論文集「いぶき」には、市内の教職員の方々が応募された、優秀な授業実践事例が掲載されており、学校図書館の図書を活用した事例もあります。3月中に各園・学校に配付予定ですので、そちらもあわせてご参照いただき、授業に取り入れていただければと思います。



第三中学校



国分小学校

『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。  
市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）  
〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4  
TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352  
<http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>

